

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公表番号】特表 2015-507930 (P2015-507930A)
 【公表日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-017
 【出願番号】特願 2014-557769 (P2014-557769)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/44 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 Q 1/44

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 23 日 (2017.6.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

核酸の増幅方法であって、

a) 核酸鋳型を用意するステップと、

b) DNA ポリメラーゼと、デオキシリボヌクレオシド三リン酸と、3' 末端及び 5' 末端を有するプライマーとを含む反応溶液に核酸鋳型を接触させるステップであって、プライマーが、2 - アミノ - デオキシアデノシン (2 - アミノ - d A) 及び 2 - チオ - デオキシチミジン (2 - チオ - d T) を含んでいて、(+ N) (+ N) (a t N) (a t N) (a t N) * N の一般構造 (式中、ヘキサマーの 5' 末端は (+ N)、3' 末端は * N であり、「N」はデオキシアデノシン (d A)、デオキシチミジン (d C)、デオキシグアノシン (d G) 又はデオキシチミジン (d T) を表し、「+」はヌクレオチド塩基に先行するロックド核酸 (LNA) 塩基を示し、(a t N) は 2 - アミノ - d A、d C、d G 及び 2 - チオ - d T のランダム混合物を表し、「*」はホスホロチオエート結合を表す。) を有するヘキサマーである、ステップと、

c) 核酸鋳型を増幅するステップと

を含む方法。

【請求項 2】

核酸鋳型の増幅が等温条件下で行われる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

核酸鋳型の増幅が高いストリンジェンシー条件下で行われる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

DNA ポリメラーゼが phi 29 DNA ポリメラーゼである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

核酸鋳型の増幅がローリングサークル増幅法 (RCA) 又は多重置換増幅法 (MDA) からなる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

当該方法により、痕跡量の核酸の増幅が可能である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

核酸を増幅するためのキットであって、

(a) DNA ポリメラーゼと、

(b) デオキシリボヌクレオシド三リン酸と、

(c) 3' 末端及び 5' 末端を有するプライマーであって、2 - アミノ - デオキシアデノシン (2 - アミノ - d A) 及び 2 - チオ - デオキシチミジン (2 - チオ - d T) を含んでいて、(+ N) (+ N) (a t N) (a t N) (a t N) * N の一般構造 (式中、ヘキサマーの 5' 末端は (+ N)、3' 末端は * N であり、「N」はデオキシアデノシン (d A)、デオキシシチジン (d C)、デオキシグアノシン (d G) 又はデオキシチミジン (d T) を表し、「+」はヌクレオチド塩基に先行するロックド核酸 (L N A) 塩基を示し、(a t N) は 2 - アミノ - d A、d C、d G 及び 2 - チオ - d T のランダム混合物を表し、「*」はホスホロチオエート結合を表す。) を有するヘキサマーであるプライマーとを含むキット。

【請求項 8】

DNA ポリメラーゼが p h i 2 9 DNA ポリメラーゼである、請求項 7 記載のキット。